

2005年3月29日

各 位

双 日 株 式 会 社

双日、インド法人を設立
BRICsの一員として世界的に大きな注目を浴びるインドでの
積極的なビジネス展開を目指して

双日株式会社は、BRICsの一角を担い、今後、高度成長の持続が期待されるインドでのビジネス拡大を図るため、双日アジア会社が100%出資する双日インド会社（英文名称：Sojitz India Private Ltd.）を4月1日付で設立いたします。現地法人を設立することによりインド市場での活動範囲を広げ、変化に対応できる厚みを持った業務形態への変革を目指します。市場への直接参入と地場に密着した事業を展開して収益を拡大して参ります。

インド経済の進展に合わせたビジネスチャンスの拡大と収益の確保のために設立する双日インド会社は、合成樹脂、物資、食料など比較的ボリュームの少なかった分野の再結集を図り、全体的な経済のかさ上げに備える体制を構築します。また、現地法人化を通じてロジスティクスや現地加工等、従来手がけられていなかった分野でのビジネスチャンスの発掘や、対日取引に加えてアジアを中心とした第三国向け取引の拡大などにより、収益の拡大を図ります。

一方、既存コアビジネスである機械、化学品、鉄鋼原料の各分野に対しては、さらなる資源の集中により、一層の拡大をねらいます。機械分野では、今後さらなる成長が期待される電子通信および自動車・二輪車、化学品分野ではインドからの輸出、鉄鋼原料分野では対日以外の輸出市場への参入を図ります。

広大な国土に世界第二位の人口約10億人を擁するインドは、国内産業保護の観点から規制の多い閉鎖的経済政策が長く続き、外国投資受け入れの点で大きく遅れていました。名目GDPが5500億ドルと中国の経済成長に比べて少ない数値になっていますが、1991年の新経済政策の導入以来、1995年のWTO参加、近年の東アジア地区で活発になっているFTA協議の高まり等を背景に経済の自由化・活性化が進みつつあります。また、インターネットに代表されるIT革命を背景に理系の技術者を大量に生み出す高い教育水準を背景にしたソフトウェア産業の急拡大は、インドへのビジネスプロセスアウトソーシング（BPO：Business Process Outsourcing）を急速に拡大させてインド経済の活性化に寄与し始めています。

インドにおける従来の駐在員事務所業務はすべて双日インド会社に移管し、3年後に約500億円の売上を目指します。双日インド会社は当初駐在員5名と現地社員41名の合計46名でスタートしますが、商権の拡大と収益の増大とともに人員も適宜増やして参ります。

【双日インド会社 会社概要】

- 代表者 : 村上 明
- 設 立 : 2005年4月1日
- 資本金 : 8000万インドルピー（185万ドル相当）
- 本 店 : ニューデリー
- 支 店 : ムンバイ

【本件に関する問い合わせ】

双 日 株 式 会 社 広 報 部 03 - 5520 - 3188